

安心・安全に暮らせる岡山に。

1 災害に強い街を作ります

公共施設の改修や、減災に向けた取組の実施

- 豪雨、土砂災害から身を守るため、県内全地域の避難計画の策定や、老朽化している道路や河川の改修を行い、皆さんの生活を守ります。
- 災害による被害を軽減するため、ハザードマップの作成を促進することや、住民が主体となった避難訓練を積極的に行います。

2 子どもたちが安心できる社会へ

スマホ・ネット問題から守る対策

- 子どもを取り巻くスマホ・ネット問題の解決に向け、学校、家庭、携帯電話事業者等と連携し、子どもたちを守る体制を整備します。

3 安全に暮らせるまちづくりをします

子どもからお年寄りまで安心して暮らせる社会へ

- 事故を未然に防止するために、道路上に設置している街灯の数を増やし、積極的に自転車専用レーンを設置します。



晴野たろう 略歴

現在62歳。岡山県出身。晴れの国大学卒。
行政職員を経て、県知事に（現在2期目）。
元行政職員の経験を活かし、日々奮闘。
休みの日は、県内の山をハイキングし、自然を満喫。

晴野たろう

おかやまをICT化へ

岡山はな子

医療・介護のICT化

- ◇医療に関し、患者情報を共有化する医療福祉ネットワークシステムを構築し、そこで蓄積されたビッグデータを活用し、必要に応じた医療サービスを行います。
- ◇介護の負担軽減や介護サービスの拡充を図るため、介護ロボットを導入した施設には、助成を行います。

教育のICT化

- ◇急速に進展する情報社会の中で、子どもたちの主体性を育むため、生徒1人につき1台の教育用コンピューターを、各学校に1台以上の電子黒板を導入し、ICT環境を整備します。
- ◇人口減少、過疎地域における小規模学校の教育上の課題を克服するため、学校同士をICTで結び、合同学習を行います。

地域のICT化

- ◇地域間格差を解消するため、中山間地域における光ファイバ網を100%普及させます。インフラ整備により、ICTベンチャー企業の誘致、サテライトオフィスの整備を図ります。
- ◇中山間地域でも都市部と同様に働くことができるようにテレワーク制度を導入した企業には、導入経費を助成します。



プロフィール

46歳。東京都出身。10年前にターンして、岡山へ移住。
家族は夫、子ども2人（長女、次女）
元商社社員で、5年間の海外勤務あり。
好きな食べ物は、マスカット・オブ・アレキサンドリア。
趣味は、ブドウ狩り。